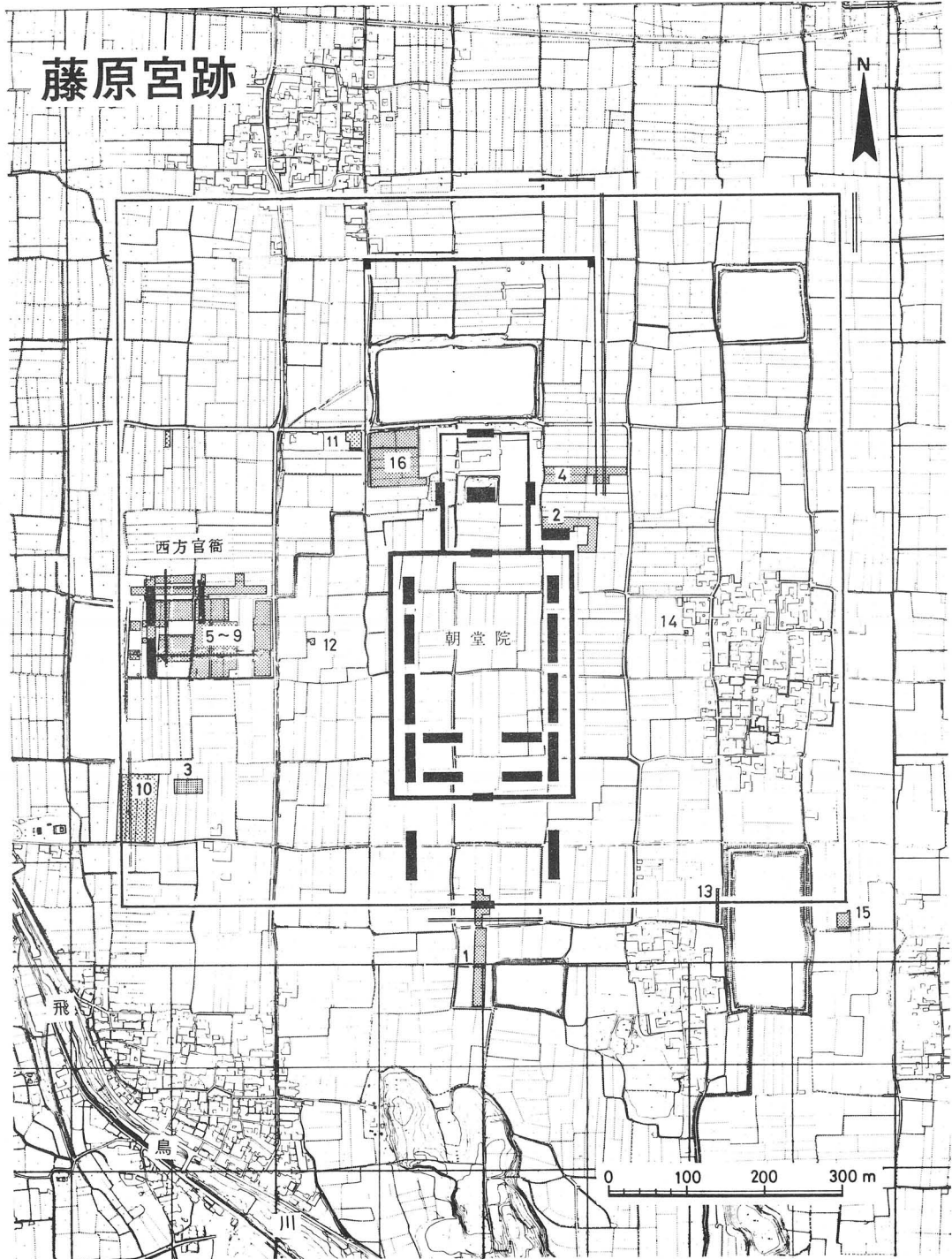


飛鳥・藤原宮発掘調査概報 5

藤原宮・大官大寺・坂田寺・和田廃寺・推定山田道

昭和 50 年 3 月

奈良国立文化財研究所



網：調査地 数字：調査次数

飛鳥・藤原宮発掘調査概報 5

目 次

藤原宮第10・11・15・16次の調査……………	3
大官大寺跡の調査……………	21
坂田寺第2次の調査……………	33
和田廃寺の調査……………	39
推定山田道の調査……………	44

飛鳥・藤原宮跡発掘調査部は、昭和49年度の調査として、藤原宮跡・大官大寺跡・坂田寺跡・和田廃寺跡・推定山田道などの発掘を実施した。

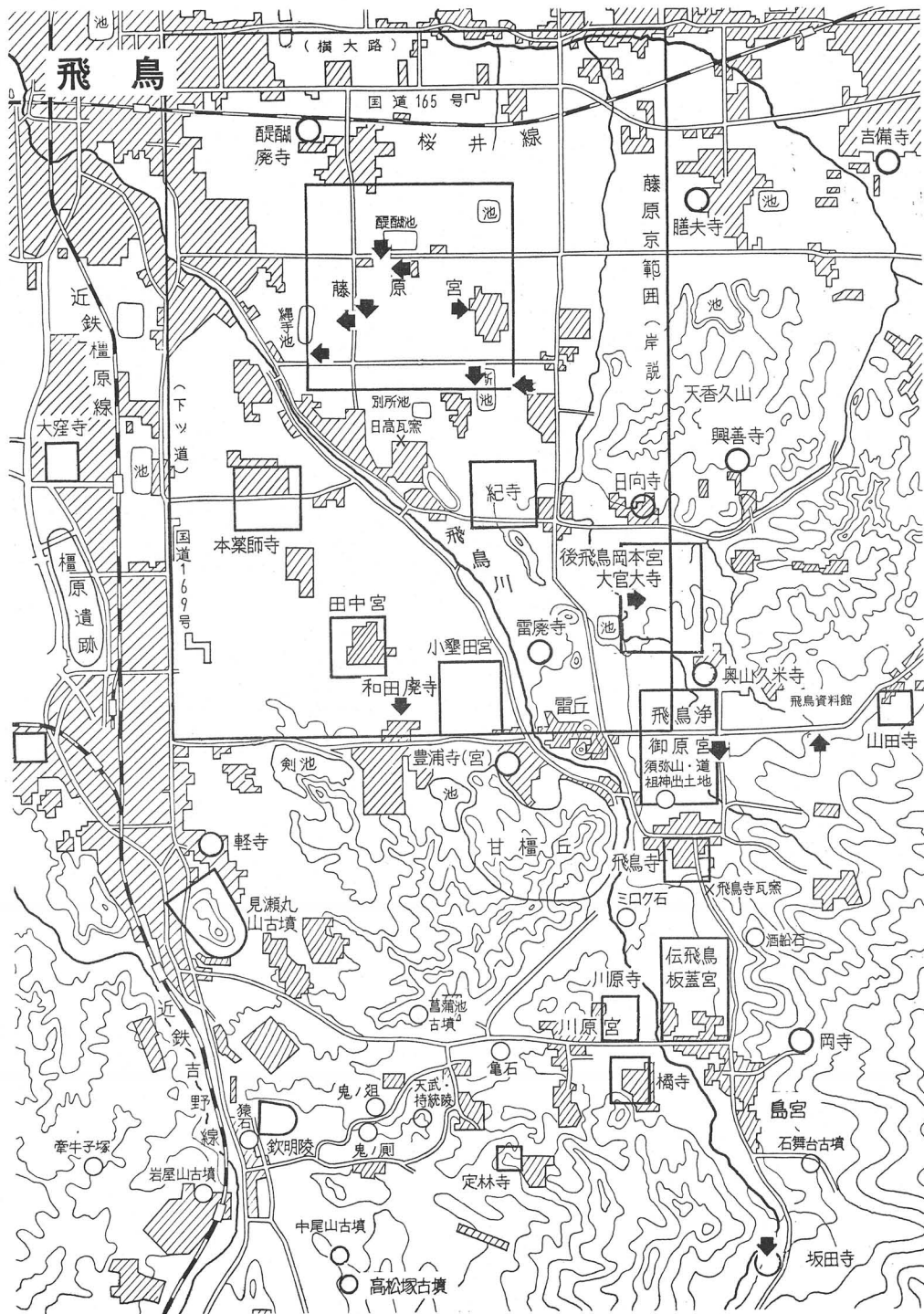
藤原宮では、第10次調査から第15次調査まで終了し、現在内裏の西外郭の地区で第16次調査(南半部)を進めている。これらの調査によって、宮域の西を限る西面大垣、内裏外郭の西を限る柵、藤原京の条坊に関連するとみられる南北・東西道路などを検出した。

大官大寺跡の調査は、主要伽藍の配置・規模および藤原京の条坊との関係について究明することを主な目的としたもので、今回は推定講堂跡・西回廊・金堂を対象におこない、講堂の基壇規模と西回廊の一部を明らかにした。

坂田寺跡の調査は、昭和47年に引続くものであるが、検出した遺構が寺域のなかで、どのような位置を占めているかは、なお明らかでない。

和田廃寺の調査は、宅地造成に先だって大野塚の南でおこなったもので、掘立柱建物や柵などの遺構を検出したが、その性格についてはなお明らかでない。

推定山田道の調査は、飛鳥資料館宿舍の工事にもなって小範囲の発掘をおこなったものである。



矢印 - 発掘地点

裏表紙カット 大官大寺出土の隅木先飾金具（5分の1）

